

## 交差点の改良などの対策で 渋滞は十分解消するのでは？

一方、図表4は、府中街道の4地点での交通量の変化を示しています。1983年当時から調査地点である東村山市本町と小平市上水本町（ふれあい下水道館前）の交通量の変化を見ると、減少傾向にあることがわかります。

これは府中街道が、1980～90年代にはひどく渋滞したけれども、現在はずいぶん渋滞が減った、という近隣住民の生活実感にも合致します。

道路交通センサスでは、調査地点の道路の「混雑度」※3も調べています。混雑度が1.00以下では、道路が混雑することなく、円滑に走行できるとされ、

1.00-1.25では、道路が混雑する可能性のある時間帯は1～2時間で何時間も混雑が連続する可能性は小さいとされます。

小平市上水本町（ふれあい下水道館前）での混雑度は、平成17年の1.33から平成22年には1.15に減っています。混雑度もこのように減少する中で、この程度の渋滞は、交差点の改良などの対策で十分解消するのではないのでしょうか。

※3  

$$\text{混雑度} = \frac{\text{昼間12時間の実測交通量} \times \text{大型車混入による補正係数}}{\text{昼間12時間の設計交通容量}}$$
 数値が大きいほど混雑していることを示します。

図表4 府中街道の各地点の交通量と混雑度（H.17 22の国道交通省道路センサスより）

地点		1983	1985	1988	1990	1994	1997	1999	2005	2010	混雑度		車道幅員 (H.22)
		(S.58)	(S.60)	(S.63)	(H.2)	(H.6)	(H.9)	(H.11)	(H.17)	(H.22)	H.17	H.22	
東村山市本町1丁目19	昼間12時間交通量(台)	11,348	10,332	10,491	10,672	8,950	9,866	9,295	9,249			1.6	
	24時間交通量(台)							14,128	13,966				
小平市小川東町2	昼間12時間交通量(台)								9,249	9,743	1.36	7.5m	
	24時間交通量(台)							13,966	14,030				
小平市上水本町1丁目25	昼間12時間交通量(台)	12,833	12,956	12,714	12,784	13,427	13,257	13,478	12,307	11,695	1.33	1.15	8m
	24時間交通量(台)							20,487	18,584	16,841			
国分寺市東戸倉1-28-4	昼間12時間交通量(台)								10,768	12,920	1.88	7.5m	
	24時間交通量(台)							16,651	18,605				

※ H.17年から22年にかけて、交通センサスの調査地点の入れ替えがあり、小川東町と国分寺市東戸倉が加わった。



出典：東京都「H.42 将来交通量図」より当会が作成